

自己実現 2020

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

【第2回実力考査教科・科目別講評】

〈国語〉

平均点は模範解答、解説に記載の通り。第1回の実力考査と同様、文系・理系で現代文の得点率に大きな差はなかった。点差が開いたのは、やはり古典分野である。理系は、授業数が少ない分、いかに古典分野の復習に時間を割けるかにかかっている。もう一度基礎を見直し、夏が終わるまでに完成させること。文系は、時間が足りず全問にしっかり取り組めなかった者が多いように思う。長文や選択肢の読み取り、記述解答を何度も演習し、問題を解く早さを身につけてほしい。総理は、緻密な読み・解答を心がけよう。文章の表現一つ一つに注意することと、傍線箇所と設問の内容を正確におさえることで、さらなる伸びを期待したい。

評論文は、文章Ⅰのみの読み取り問題はよくできていた。文章Ⅱと読み比べるところで、何が何に相当するのかが読み取れていない。ということは、文脈からの読み取りはできているが、本当の意味での内容理解ができていないということになる。文章Ⅱのみに気を取られずに、まず文章Ⅰをしっかり整理しておけばもう少し書けたのではないだろうか。

小説は、読み取りの緻密さに欠ける。文章中の表現一つ一つに対して、もっと注意を払わなければならない。頭の中で勝手なストーリーを描き、本文から離れてしまうことのないように。特に、傍線箇所やそこに至るまでの心情の流れをよく読もう。また、記述解答を見ていると、別の間の選択肢に引きずられて話の流れをつかんでいるかのような内容が多いことに驚いた。物語の深部は、文章の中からしか読み取ることはできない。

古文は、今回の文章は語彙を見ても文法を見ても易しい内容であった。ストーリーも単純であり、Ⅰ・Ⅱの文章が内容的に共通していることに気づけば（問七がある時点で明白だが）、どちらかを読むだけでもう一方も理解することができたはずである。実際、内容を読み取れた者は高得点をおさめていた。今回振るわなかった者は、単語が定着していないので、繰り返し単語帳に向き合おう。

漢文は、今の時期になって、漢文の読み方など、基本的な事項が定着していない人が多かったのは残念である。また、問三(i)の抜き出し問題の誤字も多く、確実に得点できる問題を落とすケースが目立った。全体的には、いつものことながら、時間配分を誤って、漢文を問く時間がなかった人が多く見受けられた。問題を配られたら、問ける問題から解き始めていくなど、工夫することが必要である。

〈数学〉

最近では、思考力を問う問題が増えてきている。つまり、問題集で解いてきた問題からもう一步踏み込んだ問題である。これを解くためには、基本の積み重ねが大事である。

解答を見てもらうと、今まで解いたことのある問題や考え方が組み込まれているはずである。また各分野ごとに定石の考え方と解法の手順が存在するので、それを整理して習得することが求められる。自分の不得手な分野はそこに注意して努力することが必要である。

問題文が読めていない人は、知識理解がまだ不十分である。定義・定理を理解し、説明できるまで理解を深めなければならない。日頃の演習で足りていないことを放置せず、その場で理解を深めていって欲しい。夏休みでは、チャートや問題集の復習を徹底してやって欲しい。目標は、定期考査、実力考査、模試等で示している。特に理系は、数学Ⅲの本格的な演習に入る。時間を要する問題も多くなるので一問一問を大事にして欲しい。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現 2020』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

<英語>

・筆記 …… 平均点 64.7 点 / 200 点 ・リスニング …… 平均点 30.2 点 / 50 点

<リスニング> 30.2 点 / 50 点

正答率は6割とまずまずのところですが、リスニングは皆さんの「強み」にして欲しい部分。リスニング力を伸ばすためのスタートを切る時期として、この夏休みはもうギリギリのラインです。①問題を解きながら聞く→②答え合わせをしてから、スクリプトを見ながら聞く→③もう一度スクリプトなしで聞く:この3回を1セットにして15分リスニングを取り入れましょう。

<筆記>

【長文】 29.4/ 100 点 (29.4%)

【1】他人の失敗を過剰にたたくときに生まれるシャーデンフロイデという感情についての心理学、脳科学分野の論文からの出題。英文和訳問題では正確に文構造を理解できているか、整序問題ではパラグラフの特徴を理解して英文を読めているかを問うた。語彙力増強とともに難解な英文にもどんどんチャレンジしていこう!!

【2】絶滅の危機にある生物を遺伝子利用で救う科学分野の話。段落ごとの主旨をしっかりと理解しながら読み進めてほしい。問5のpopulationの日本語訳のように、複数の意味を持つ単語は、文脈によって訳を変えられるようにしたい。1つの文章の中でも、複数の意味で使われることもあるので注意。問7は本文の“~has yet to (まだ~ない)”の部分を読み落として、オを選んでいる答えが多かった。

【3】小説からの引用を問題文とした。英文のレベルは易しめなので、満点に近い得点を取った生徒もいれば、ほとんど得点が取れなかった生徒もいた。小説を読むには場面や登場人物の心情を考える想像力が必要である。問2の和訳部分にあるtornはtear(引き裂く、引きちぎる)の過去分詞であることに気が付けば、きちんと和訳できたはずである。

【発音・アクセント】 9.9/ 20 点 (49.3%)

基本的な単語に関して、アクセント・発音を問うた。アクセント問題に関しては、発音問題よりも正答率が少々高かった。正答率が高い生徒とそうでない生徒で、二極に分かれていたように思える。単語のアクセントを含めた発音を意識しながら、日ごろから声に出して発音することが大切である。

【文法・語法】 14.0/ 40 点 (34.9%)

ほとんどが基本的な事項からの出題であり、5割以上を目指してほしい。〈A〉の(3)(5)のような時制の問題や(6)の仮定法ifを省略したものなど、それぞれの文法事項に「抜け」がないように理解しましょう。〈C〉の問題に関しては、5文型のつくりを短時間でとる練習を積み重ねてください。

【表現・英作文】 11.4/ 40 点 (28.6%)

(A)、(B)ともに基本構文、熟語や文法事項の定着を確認する問題であったが、3割未満の正解率であったのは非常に残念です。解答・解説をよく読んで理解が不十分な点は一一つなくしていく努力をしよう。(B)の和文英訳型英作文では、日頃から英文を声に出す等して暗記し、答案作成では自分の解答をチェック(代名詞、時制等)し、ケアレスミスをしていないこと。また、難解な英作文では平易な日本語、英語へと置き換える練習をしよう。次回から自由英作文も出題する予定。

前半は長文3題、後半は文法等、分量的には少ないものではないので、全体の時間配分を考えて問題に取り組んで欲しい。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現2020』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

〈物理〉 物理講評 【理系、総理】

① (力学) は標準的な問題である。斜面方向の単振動について、摩擦がない場合、ある場合で考えられるかを問うた。② (熱) は気球にはたらく力に関して、外部の密度との関係から考えられるかを問うた。③ (電磁気) は複数のコンデンサー間での電荷の移動が考えられるかを問うた。特に①, ③は典型的な問題であるので、最後まで解いてほしかった。平均点は十分ではなかったが、解答欄に何とか解こうという挑戦の跡が見られる生徒もいたことに期待が持てた。

	得点率 %			平均点
	①	②	③	
全体	57.3	28.0	22.7	36.8
普通科	39.1	12.0	11.8	21.7
総合理学科	63.7	36.4	30.2	44.3

物理基礎(総合物理)講評 【文系】

平均点は 16.8 点 (平均得点率 33.5%) でした。難易度を高めに設定したことや、波動分野の復習がまだということもあり、平均点が下がったのだと思います。授業時間でしっかりと復習し、理解を深めていけば大丈夫です。

〈化学〉 化学講評 【理系、総理】

マーク模試は別に実施されているので二次学力を測るための実力考査として出題しましたが、特に難問といえるほどの設問はなく基本～標準的なレベルの設問がほとんどです。大問2～4はある程度まとまりのある文章を読んで条件や題意を掴んで解く必要があるという意味では二次試験的です。前回4月の講評で「3年の学習にきちんと取り組むとともに、次の6月実力考査までに早目に2年までの復習を進めましょう。」と書きましたが、取り組みの成果が表れている人といない人の差が出ているようです。マーク式問題集(チェック&演習化学)は既習範囲まで一通り解き終わっていますか(自分で計画的に進めて下さい)。無機・有機の分野も終了しましたが、覚える努力をしていますか? 8月マークで8割を達成できるようにしっかり演習を進めてください。時間不足になった人は普段から意識して問題を解く(計算も含めて)スピードをアップさせましょう。

化学基礎(総合化学)講評 【文系】

今回もセンター形式と一部記述形式で出題しましたが、第1回実力考査に比べて一ひねりした問題を多くしました。そのため直前に受けた外部の「マーク模試」よりも難しく感じたかもしれません。教科書の章末問題を解きながら一通り復習をしましたが、学習をきちんと進めた人とそうでない人の差が出ているようです。前回もポイントと指摘した「化学式やイオン式など覚えるべきことは完全に暗記する」「用語とその意味を覚えるときは具体例も覚える」「化学の計算問題は普段から電卓を使わずに自力で計算する」に留意して、間違えた問題を一題一題しっかり復習してください。確実に得点力はUPしていきます。

〈生物〉 **生物講評** 【理系、総理】

最高点は38点で、5割を超える設定をしていたので残念です。問題文をしっかりと読みこみ文章で表現できれば得点できるのですが、まだまだ記述の力をつけるのには時間がかかりそうです。理解した内容をしっかりと文章で表現できる訓練をしていきましょう。

前回同様ですが、基本的な知識を問う小問で点が取れていなければ夏休みにしっかりと重要語句の復習をする。問題の内容には青酸カリの作用や、発生における指の形成、呼吸、今年の5月に承認された薬価約3500万円のキメラ抗原受容体発現T細胞、抗生物質の作用機序、薬剤耐性菌出現のしくみ等の記述を出しました。2次試験で勝負するには理科の力が必要になります。5月以降生物の勉強時間は増えましたか？睡眠時間は取れていますか？現役で第一志望に合格するために今から何をすべきか考えて実行してください。そのためにも授業を有効に使っていきましょう。

生物基礎(総合生物)講評 【文系】

今回の実力考査では、新課程入試を意識して問題を出題しました。センター生物基礎はここ3カ年非常に簡単なテストで推移しています。しかし、新しい学力についての試行錯誤がここ数年のセンターテストにも見られます。まず最低限の用語を押さえる。問題文を読む力と出題者の意図をくみ取る力がすべての教科で必要になります。夏に向けて基礎と文章読解力を地道につけていく努力をしてください。平均点は18.4点、最高点34点。自分が解けなかった問題の見直しを必ず行い、自分ならどんな形で問題を出すか？一度考えてみてください。地道な繰り返しがセンターでの安定した高得点に繋がる道なので、あせらず、愚直に努力を続けて下さい。

〈世界史〉

1 出題内容

大問1～7…選択・記述・小論述を含む実力問題（近現代全範囲、古代はローマまで）
大問8～…文系300字論述、理系選択式問題（イタリア・ドイツ統一の経緯）

2 分析

- 古代はよくできていた。また時事問題を出題したが、多くの生徒が正答していた。
- 依然として、並び替え問題・同時代を問う問題が弱い。夏休みには年表を縦に見る勉強と、横に見る勉強をどちらもやってほしい。（参考：『タテから見る世界史』『ヨコから見る世界史』（大学受験プライムゼミブックス））
- 論述は、まず事実誤認をなくすこと（＝基礎を固めよ）。「ロンバルディア」は人ではない。「ヴェネツィア」はドイツ領ではない。事実誤認があると、論述が合否ラインの土俵に乗らない以前に、センター試験が解けない。論述の問題読解・書き方まとめ方は、基礎ができてから。

3 指導方針・学習の心構え

「×難しい問題を答えて差を広げる」→「○易しい問題を答えて差をつけられない」（再掲）

〈日本史〉

古代・近代を中心に全範囲から出題しました。センター問題に準じた正誤問題、私大問題に準じた一問一答問題、国公立大学二次問題に準じたごくごく簡単な論述問題等を出題しました。難易度としては、基礎基本から少し難解な問題も出題しました。当然ですが、まだ日本史までの勉強が進んでいないように思われ、基礎基本問題も間違っている生徒も多数いました。しかし、それだけ伸び代に期待出来るというものです。今後の大化けを楽しみにしています。

〈地理〉

自然分野と人文分野では自然分野の基本的な知識が足りません。気候区の理解は地理を理解するための基本事項です。暗記が必要な場合は暗記も必要ですが、世界の気候を大循環、大地形を踏まえて理解してください。この知識は他の地理的な空間認識でも必要ですし、大きな世界観を構築する上でも役に立つでしょう。

できなかった問題を必ず残しておき、できるようにする。地道なことですが、それが大切な受験プロセスです。夏休み以降、できなかった問題を理解してできるようにしましょう。必ず成績は伸びます。

■まとめ

『成績のいい人はテストの見直しをしている……』

テストは結果ばかりをみるのではなく、間違った問題を必ず見直しをすること。間違い直しは最も効率のいい学習法です。見直しをしないのはとても損をしていることに気がつかない人は次のテストでは残念な結果に終わるかもよ…。わからないところは先生に質問してください。

[大学入試センター試験への準備について]

センター試験は、現役生は個人ではなく在籍高等学校経由で一括出願することになっています。出願方法や注意事項等の詳しい説明は、**9月3日(火)の学年集会**で行う予定です。また、出願書類(センター試験では「**受験案内**」と呼んでいます。)は、最寄りの大学(神戸高校は神戸大学)より72回生全員分を取り寄せます。夏季休業中に申請や手続きが始まるものについて確認しておきます。

英語リスニング「イヤホン不適合措置申請」について

英語リスニングで使用するイヤホンが耳の形に合わず装着できないために、試験当日ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置申請書」を下記の方法で入手し、**最寄りの大学入試センター試験参加大学の入試担当窓口**で確認の署名をしてもらった後、志願票の所定の欄に貼り付けて出願しなければなりません。イヤホンが自分の耳に合うかどうか不安を感じている人は、**進路指導部の先生**のところまで来てください。昨年の現物があります。

[申請書の入手方法]

- ①「大学入試センター」のホームページからダウンロードする。
- ② 進路指導室または学年(職員室)に取りに来る。